

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 23 年度第 4 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 23 年 11 月 11 日 (金) 14:30~17:00 予定					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	安福 規之	○	★理事	小島 芳之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	×	部員	坂元 耕三	×
部員	西岡 英俊	×	部員	畠山 正則	○	部員	平井 貴雄	○
★部員	宮田 喜壽	○	★部員	吉嶺 充俊	×	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	○						

★：H20 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-23.4.0	平成 23 年度 第 3 回基準部会議事録案
資料-23.4.1	平成 24 年度活動計画書及び予算 (第 1 次案)
資料-23.4.2	基準の英訳につける表紙 (案)
資料-23.4.3	ISO 関係 国際会議派遣理由書
資料-23.4.4	理事会報告資料 [10/ 5理事会議事録案, 10月28日書面審議議題書]
資料-23.4.5	ISO 国内委員会報告資料 [10月18日議事録案]
資料-23.4.6	室内試験規格・基準委員会報告資料 [10月31日議事録案]
資料-23.4.7	会員からの質問の回答 (地盤調査規格・基準委員会)
資料-23.4.8	「技能試験」の実施に関する検討資料
資料-23.4.9	理事会会長から指摘されている当面の検討課題
資料-23.4.10	地盤工学表記法委員会報告資料 [10月11日議事録案]
資料-23.4.11	
資料-23.4.12	
資料-23.4.13	
資料-23.4.14	
資料-23.4.15	
資料-23.4.16	
資料-23.4.17	
資料-23.4.18	
回覧資料	

1. 前回議事録の確認

(資料-23.4.0)

議事録を承認した。

2. 全体関係

(1) 日下部会長からの提案 継続審議

(資料-23.4.9)

今回と次回の部会で議論した内容を整理し、1/27 開催の理事会で話題提供を行う。テーマは「JGS・ISO 基準」である。部長より説明があった ISO 関連事項（統一的取組方法）や八戸大会 DS について議論したメモを各委員会に送付するので、ご意見や追加で議論したい事項を検討いただきたい。また、海外への情報発信の観点から、基準の英文化に関する取組を紹介する。

なお議論では下記のような意見があった。JIS と ISO の整合化については、基準部の方針は、国際戦略の観点を盛り込んで、主体性が見えるようなポジティブな書き方が望ましい。日本の基準が、技術的に優れているとしても、国際的に使われない理由を分析すべき。基準の普及にはアジアに重きを置いた戦略が必要ではないか。DS には、部関係者の他に行政の方からも情報提供をいただけないか。

- ① JGS 基準の JIS 化の促進
- ② 基礎設計・施工基準の促進
- ③ ISO 活動への資金獲得
- ④ CEN のアジア版組織の構想
- ⑤ HP 掲載内容の改訂について

(2) 平成 24 年度予算及び活動計画

(資料-23.4.1)

事業計画・事業計画および予算（第 1 次案）が事務局より示された。

(3) 地盤工学会の ISO 規格への対応方針

① 基準の英訳化事業

(資料-23.4.2)

既にある基準の英訳を HP で公開する際の注意事項を記した表紙の文面について、議論を行い一部修正の上承認した。修正した文面を学会の顧問弁護士に見ていただき、齟齬がないかを確認いただくことになった。

3. 委員等の異動

理事会報告 (1) 室内試験規格・基準委員会

①委員の追加 WG7 ベンダーエレメント試験方法基準化検討 WG

・川尻 峻三 氏 ((公財) 鉄道総合技術研究所防災技術研究部)

理由: 基準の解説執筆にあたり、試験装置および結果の解釈に精通している。

委員の追加を承認した。

- (2) 地盤調査規格・基準委員会
- (3) ISO 国内委員会
- (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
- (5) 表記法検討委員会
- (6) 部員公募への応募 継続審議

4. ISO 国内委員会 関係

理事会報告 (1) 国際会議派遣

(資料-23.4.3)

○会議名: ISO 中央事務局主催幹事訓練コースへの参加 (メール審議済)

- ・派遣先: スイス・ジュネーブ
- ・出張者: 野上 太郎 氏 ISO/TC190/SC3/WG10 プロジェクター
- ・期 間: 2011 年 11 月 30 日～12 月 4 日 (3 泊 5 日)

(当該訓練コースの欠員状況により、出張期間がくり上がる可能性あり)

- ・理 由: 別紙参照
- ・費 用: 経産省委託費

○会議名: ASTM D35 会議

- ・派遣先: アメリカ・アトランタ
- ・出張者: 宮田 喜壽 TC221 国内委員会 委員長 (防衛大学校)
- 椋木 俊文 " 委員会 委員 (熊本大学)
- ・期 間: 2012 年 1 月 31 日～2 月 5 日 (6 日間)

- ・理由：ASTM D35 と ISO/TC221 は、ジオシンセティックスの試験法に関する国際規準の整備にあたって、互いの機関で整備してきた試験法を最大限に尊重しあう覚書を正式に交わしている。ジオシンセティックスの試験法整備において、近年は ISO より ASTM が活発で、この分野におけるわが国の国際戦略を立案するためには ASTM の情報が必要である。
- ・費用：土木学会 ISO 活動費＋地盤工学会 ISO 活動費
- 会議名：陰イオン向けテスト・キット検出法に関する ISO/TC 190/SC 3/WG 13 (爆薬) との協議 (メール審議済)
- ・派遣先：韓国・ソウル
- ・出張者：坂井グループ・リーダー (JR 総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) — convenor, 議長職)
- ・期間：2011 年 10 月 17 日～10 月 18 日 (出張期間は、多少前後することがあります。)
- ・理由：日本 (地盤工学会) から ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) へ、2011 年末に提案することになっている「陰イオン向けテスト・キット検出法」について、関係 WG と共同審議の協議する必要が生じたため、関係委員を出張させるものである。
- ・費用：経済産業省支弁 (補助金充当)
- 会議名：重金属向けケイ光 X 線検出法の認証試験実施 (メール審議済)
- ・派遣先：ドイツ・ベルリン
- ・出張者：坂井グループ・リーダー (JR 総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) — convenor, 議長職), 野上委員 (リガク、ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) — project leader (XRF), 議長職に準ずる者)
- ・期間：2011 年 11 月 27 日～12 月 1 日 (出張期間は、多少前後することがあります。)
- ・理由：日本 (地盤工学会) から ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) へ提案している「重金属向けケイ光 X 線検出法」について、認証試験を本年 11 月にドイツ・度量衡研究所で実施し、その結果を編入して FDIS 投票することになっています。この認証試験を実施するため、関係委員を出張させるものです。
- ・費用：本件は、坂井グループ・リーダーについては経済産業省支弁の重点 TC 指定充当、野上委員については同省支弁の補助金充当となっております。

委員の派遣を承認した。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

(1) 地盤工学会基準 (JGS) の改正素案

編・WG 番号	章タイトル	基準番号
第 8 編 (WG5)	載荷試験	1521, 1421, 3531, 3511, 3411, 3421, 土壌硬度試験, 針貫入試験
第 1 編 (WG9)	岩盤分類	岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法 3821, 3811, 3821
第 3 編 (WG1)	物理探査・検層	1121, 1122 (2 基準)

※上記が平成 24 年 1 月に学会誌に公示するもの

第 5 編 (WG2)	ボーリング・サンプリング	1221, 1222, 1223, 1224, 1231, 3211 (6 基準)
第 6 編 (WG4)	サウンディング	1411, 1431, 1433, 1435 (4 基準)
第 7 編 (WG3)	地下水	1311, 1312, 1313, 1314, 1315, 1316, 1317, 1321, 1322, 1323 (10 基準)
第 9 編 (WG6)	現場密度試験	1611, 1612, 1613, 1614 (4 基準)
第 10 編 (WG7)	現地計測	1711, 1712, 1718, 1721, 1725, 1731, 3711, 3731, 3541, 3551, 3721, 3722 (12 基準)
第 11 編 (WG8)	環境化学分析のためのサンプリング	1911, 1912, 1921, 1931, 1951, 1941, 1942, 1943 (8 基準)

※上記が 11 月に学会誌に公示したもの

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし。

9. 販売促進 WG

特になし。

10. 基準部所管刊行物

特になし。

11. その他

(1) 「技能試験」の実施に関する検討

(資料-23.4.8)

「技能試験の実施について」基準部意見交換会の検討結果に対する澤先生の考えが紹介された。今後も広く意見を集約し、取りまとめた上で学会としての方針を決定する。なお、部会では下記のような意見があった。

現状では、技能試験の必要性が実務上はあまり認識されていない（試験所認定を受けていなくても業務遂行に支障がない）。技能試験に対するインセンティブが働くような仕組みがないと普及しないのではないか（例 総合評価の項目に加える等）。海外で仕事をする際、技能試験を通じて試験所認定されていることはアドバンテージにはならないか。力学試験では、乱さない試料のサンプリング技術の差が、試験法のばらつきよりもはるかに大きいことが問題である。発注者側（行政）の意見も参考とすべき。今後は学会のスタンス（方針）を明確にした上で、澤先生とのやり取りや各委員会から意見集約をした方がよいのではないかと。

報告事項

1. 理事会（10月5日、10月28日（書面））開催報告

(資料-23.4.4)

基準部に関連する事項について部長より報告があった。

2. 全体関係

特になし。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成23年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	100万円		×		
・三菱総合研究所（回答作成）	50万円		○		
・三菱総合研究所（重点TC旅費）	135万円		○		
・日本土木工業協会	50万円		未定		
・日本規格協会	×				
・経済産業省		300万円	○		
・シーメンス・ヘルスケア		50万円			委託研究※1
小計	285万円	350万円	※1 委託研究は、WG10のグループ内で実施。委託費は、ISO対応活動費として使用		
合計	635万円				

宮田委員より今年度日本土木工業会からの資金援助はいただけないことの報告があった。

② H23 第1回委員会（10月18日開催）報告

(資料-23.4.5)

地盤工学研究発表会八戸大会において、ISO、JIS、JGSを総括的に議論するDSを開催すると報告があった。詳細な内容はこれから詰めるが、各委員会からの話題提供や議論への積極的な参加をいただきたいとの要請があった。

(2) 地盤工学表記法委員会

(資料-23.4.10)

データシートの現状と中長期の方向性を議論しているとの報告があった。レキシコンについては英文の誤植や和訳の修正作業があり、委員会で確認後に国際部に再提出する旨の報告があった。

(3) 室内試験規格・基準委員会

① H23 第 2 回委員会 (10 月 31 日開催) 報告

(資料-23.4.6)

第 2 回委員会議事録をもとに報告があった。基準の英文化にかかる費用を捻出するため、外部予算をできる範囲で獲得したいとの報告があった。委員より、赤本の収益の中から一定割合を英訳費用に回す仕組みがあってもよいのではないかと意見があげられた。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 会員からの質問の回答

(資料-23.4.7)

SWS 試験に関する会員からの質問とそれに対する回答が報告された。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進 WG

特になし。

(7) 英文HP

特になし。

4. 日本工業標準調査会 土木部会

特になし。

●H23 年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	安福 規之	
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 平田 健正 (坂井宏行) 三木 博史	
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (小口秀俊) (乾 徹) (藤原照幸) (塚本良道) (高木宗男) (椋木俊文) 山下 聡 安川 郁夫 伊藤 洋	

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層（第3編） ・WG2 ボーリング・サンプリング（第4,5編） ・WG3 地下水（第7編） ・WG4 サウンディング（第6編） ・WG5 載荷試験（第8編） ・WG6 現場密度試験（第9編） ・WG7 現地計測（第10編） ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング（第11編） ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査（第1,2編） ・WG10 地盤環境調査（第12編）	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝	
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	岸田 隆夫	

5. その他

- 1) 理事会（平成23年 10月 5日（水）開催予定）への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成 23 年 月 日（ ）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 23 年度第 4 回：平成 23 年 11 月 11 日（金）14:00 時～
（対応理事会 H23.11.30）
 - ・ 23 年度第 5 回：平成 24 年 1 月 20 日（金）14:00 時～
（対応理事会 H24. 1.27）
 - ・ 23 年度第 6 回：平成 24 年 3 月 日（ ）14:00 時～
（対応理事会 H24. 3.16）
 - ・ 24 年度第 1 回：平成 23 年 5 月 日（ ）14:00 時～
（対応理事会 - ）

☆ 平成 23 年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

○ 運営連絡会議

- ① 4 月 22 日（金）
- ② 5 月 13 日（金）
- ★ 6 月 10 日（金） 総会/理事会
- ③ 6 月 24 日（金） ※書面審議
- ④ 7 月 29 日（金）
- ⑤ 9 月 30 日（金）
- ⑥ 10 月 28 日（金） ※書面審議
- ⑦ 11 月 30 日（水）
- ⑧ 12 月 22 日（木） ※書面審議
- ⑨ 1 月 27 日（金）
- ⑩ 2 月 24 日（金） ※書面審議
- ⑪ 3 月 16 日（金）

 ⑫ 4 月 27 日（金） ※書面審議

⑬ 5 月 18 日（金）

★ 6月 日 () 総会/理事会